

# バイアスを除いた臨床検査値および検査値分布の自動抽出手法の確立についての後方視的研究

## 1. 研究の対象

1981年10月1日～2016年3月31日の期間に、高知大学医学部附属病院(以下、当院)へ外来受診した患者様(受診時20歳以上)の血液検査データを対象とし、「バイアスを除いた臨床検査値および検査値分布の自動抽出手法の確立」について後ろ向き研究を検討させていただきたいと思っております。なお、本研究は高知大学医学部倫理委員会の承認を得て実施いたします。

## 2. 研究目的・方法

### 【目的】

患者様に対する医師の思考などは、多様な形式にて電子カルテ上に記録されます。蓄積された電子カルテの情報には医師の思考の痕跡が多数含まれており、近年様々な手法を用いてその情報を自動的に抽出する試みがなされています。血液検査においても、検査の実施間隔の情報を医師の思考の根拠とみなし、医師の思考を抽出する試みがなされています。

この研究では、血液検査の検査値に対する臨床医の思考過程を、まずは「医師が問題ないと考えうる検査値」として自動的に特定する手法を開発することを目的としています。このことにより、蓄積された電子カルテデータを利用した予後予測システムの構築ならびに精度の向上や、電子カルテ上の不完全なデータに対する適切な解析方法等を提案することができ、医療情報学ならびに疫学研究の発展に寄与することが期待できます。

### 【方法】

上記対象の患者様の匿名化されたデータ(年齢・血液検査データ・処方データ)を解析します。

### 【期間】

高知大学医学部倫理委員会での承認日から2022年3月31日までを予定しています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

### 【情報の種類・個人情報の保護】

使用する情報は、年齢や投薬歴、検査結果など、必要な医療情報のみを対象とし、どの患者様の情報であるかが直ちに判別できうる情報(例:氏名・住所・生年月日、患者IDなど)は一切含まれません。また、来院日や処方日などのイベント日付は生年月日からの相対日付に変換されています。研究に使用する情報は、インターネットおよび可搬電子媒体(USBメモリなど)を含む外部機器から完全に遮断され、かつ許可された人物のみがアクセス可能なコンピュータに保存し、解析を行います。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することができますので、お申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には、本研究の対象とはいたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合、患者様に不利益が生じることは一切ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 兵頭 勇己 (高知大学医学部附属医学情報センター・助教 / 理学療法士)

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

電話：088-880-2547(直通) FAX：088-880-2214